

たった 30 日でプロ級の絵が 描けるようになるのか！？

コイケ編
図書館員がやってみた。

もう年の暮れというある日、とある図書館員が仕事の帰りに書店に立ち寄ったことから始まる。

デザイン系の棚に大量に平置きされたとある本。

それがこの、マーク・キスラー著の
『たった 30 日で「プロ級の絵」が
楽しみながら描けるようになる本』
であった。

とある図書館員は、これを検証して世間に
発表しようとその本を購入し、自分だけじゃ
なんだからと他の図書館員を巻き込んで“本の内容を調査する
ことも図書館員の仕事の一環だから”と職場で絵を描くことにし
たのであった。



まず、この本の内容を簡単に説明しよう。

マークによる全 30 回のレッスンがこの 1 冊にまとめられており、この通りに 1 回 20 分、30 日練習すれば絵がプロ級にうまくなる・・・というものだ。

では、このマークという人物は誰なのかというと、

帯にはこう書いてある

「エミー賞」受賞のアメリカの大人気絵画講師/大人気 TV 番組「マーク・キスラーのイマジネーション・ステーション」司会

日本に住む私たちは知らなかったが、子どもに絵を描く楽しさを伝える活動で有名な人らしい。

マークを信じ、30 日絵を描いた図書館員がこの二人。



本を買ってきたとある図書館員。このコイケ編のメイン。イラストでラインスタンプの自作経験あり。



字も絵もいい感じなので選出。とても軽やかに描く。

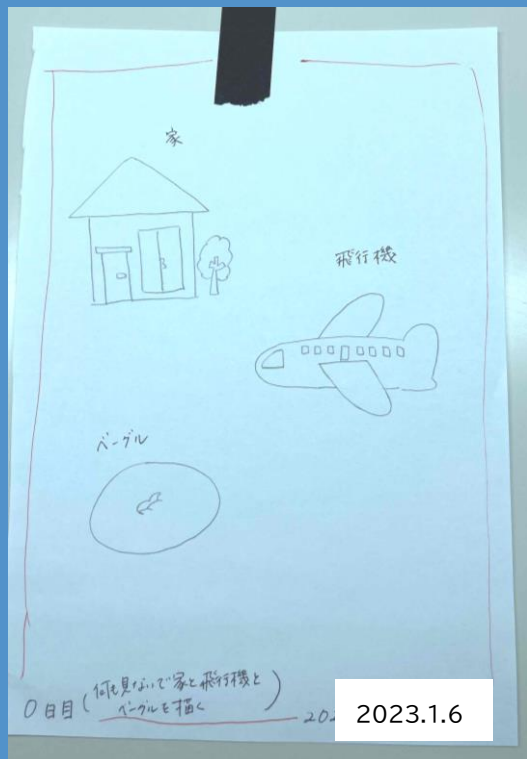
ただしこの本、原題だと

『You can draw in 30 days~The Fun, Easy Way to Learn to Draw in One Month or Less~』

となっており、特に”プロ級”的なことは謳っていないということは記しておく。

レッスン 0: まず描いてみる

マークからの最初の指令は、なんにも見ないで
「家」「飛行機」「ベーグル」を描くというものだった。



ベーグルの絵、人生ではじめて描いた。

アメリカではみんなそんなにベーグルを描くのかい？
ベーグルの特徴ってなに？ドーナツとの違いを表現しようってこと？



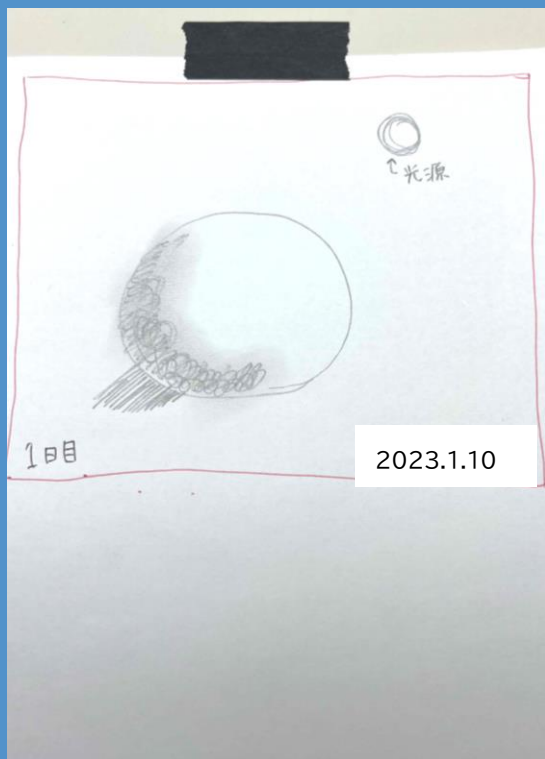
企画の面白さに感動。だが絵が苦手なため、見守り＆コメントを担当。
いい感じのスタート



「絵はからっきし…」とおっしゃっていましたが、可愛い絵です。

レッスン 1: 球体

ここからが本格的なレッスンだ。ここから私たちは
“影”について苛まれることになった。



きれいな丸がそもそも描けない。そこから教えてほしかったですね。
影をばかすときに指が汚れて嫌でした。



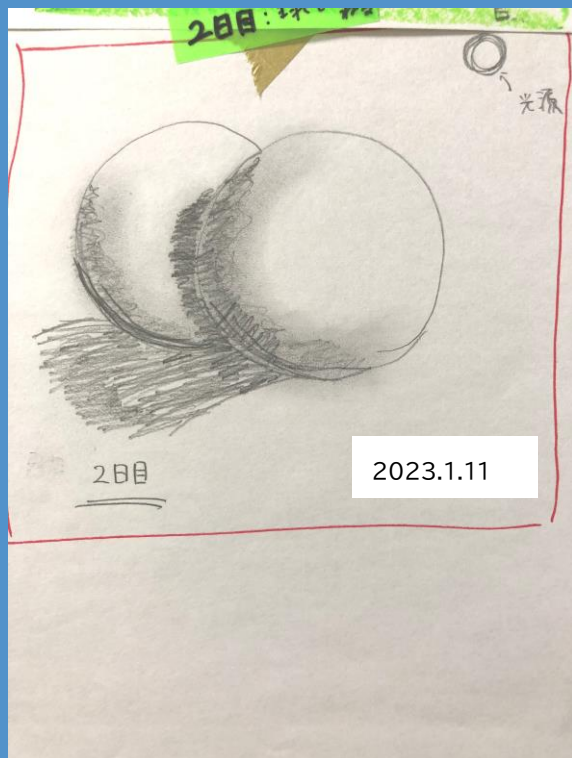
影が葉っぱに見えてモモみたい。
もしくはきれいなお尻♡



そうそう、指が鉛筆で黒光りするんですよ。

レッスン 2: 重なった球体

球を重ねて奥行き感を出すように指示された。



なるべくマークのお手本通りに描いたけど、なんか違う気がする。レッスンに関係ないけど、光源のグルグルがうまく描けない。



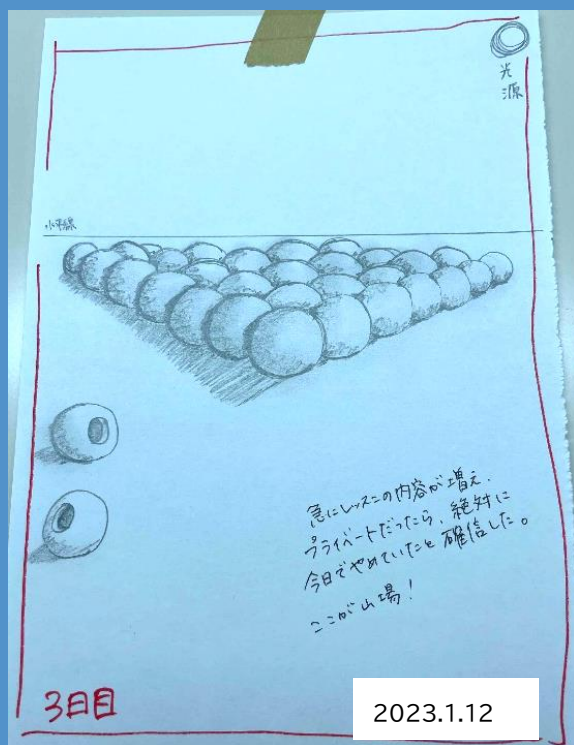
あっ、こっちの方がお尻っぽかった！影の書き方に気合を感じます。



ぼかしが上手。今日も指を世汚しながら頑張ったんですね。

レッスン3：球体・上級編

上級とはどういうことなのか…。素材感を描き分けるような指示もあった。



もうやめたい。

それしか思わなかった日。だがしかし、これが”三日坊主”ということかとうれしくなった。どんなレッスンでも3日目がやめどきになるような構(文字数)



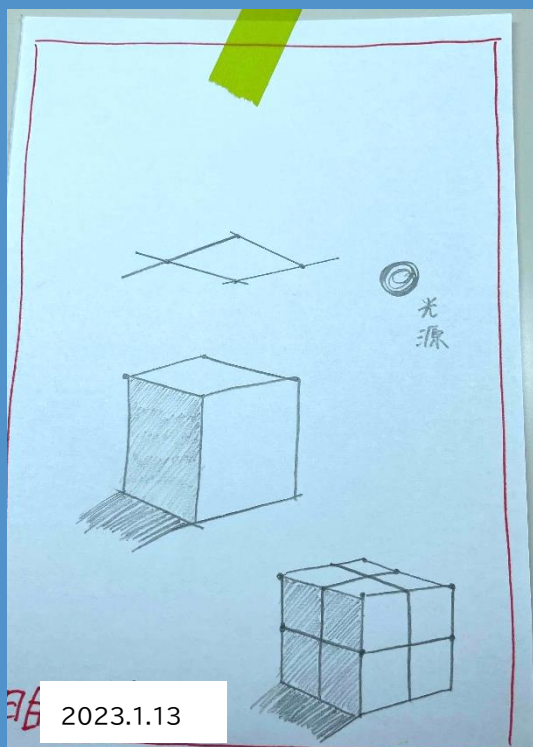
ちょっと怖い。
左のはオリーブか？
これから先、二人ともマークを信じられるのかが鍵だね。



「やめたい」と言ったコイケさんを思い出します。

レッスン 4: 立方体

つまり箱。まず点を 2 つ描いて、さらに点を 2 つ描き足してからの箱。



これまで箱を描くときは平行四辺形を描いてから・・・としていたので、マークのように向かい合う点から描くのはしっかりこない。



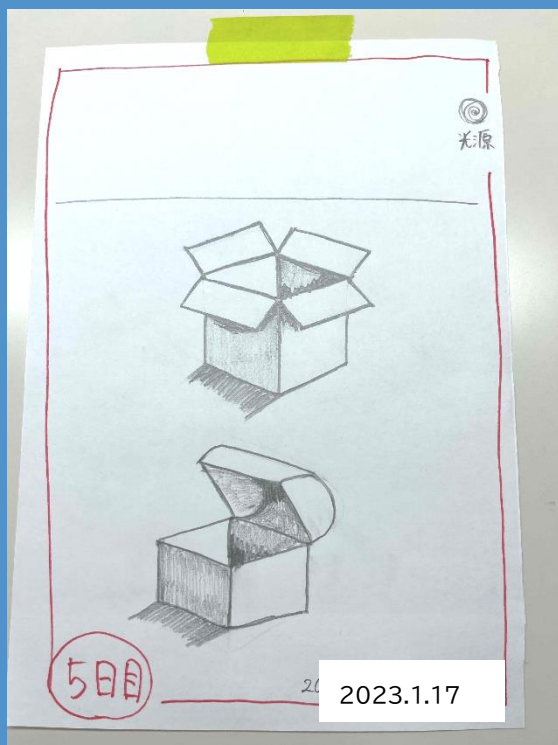
なんかいい感じじゃない？
光源の書き方も慣れてきた感じよね。



確かに！私も平行四辺形から描いていました。多分これからも。

レッスン 5: 箱

開いている。影が大事。



「中のものは自由に描きましょう」的なレッスンだった。こっちはシロウトなんだから、そういうところもレッスン頼むよという気持ち。あと急に出てきた水平線なに？



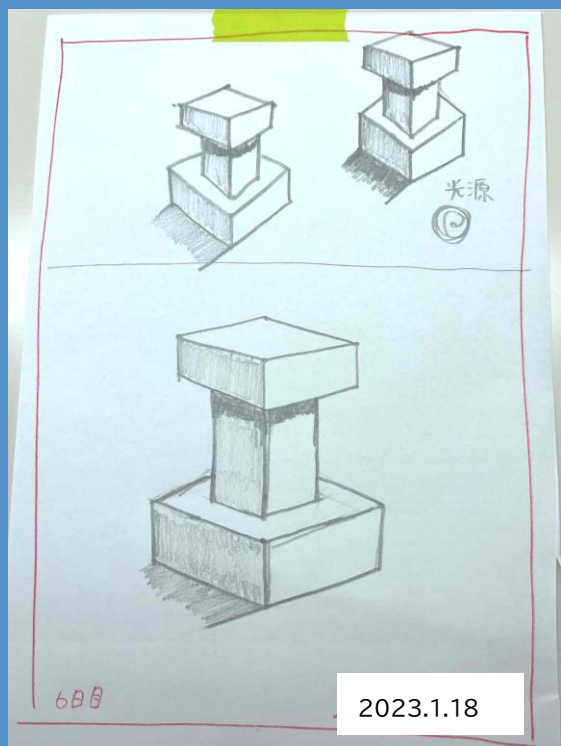
なんで光源があんな端っこに？影の出し方が上手♡隅っことかね。



分らないところって意外と細かいところなんですよね～。

レッスン 6: 積んだ台

箱を重ねた感じ。相変わらずの影が大事。



マークの言う通りに描くと、正しいんだろうけどなんか違和感があるように見えるのは気のせいでしょうか。



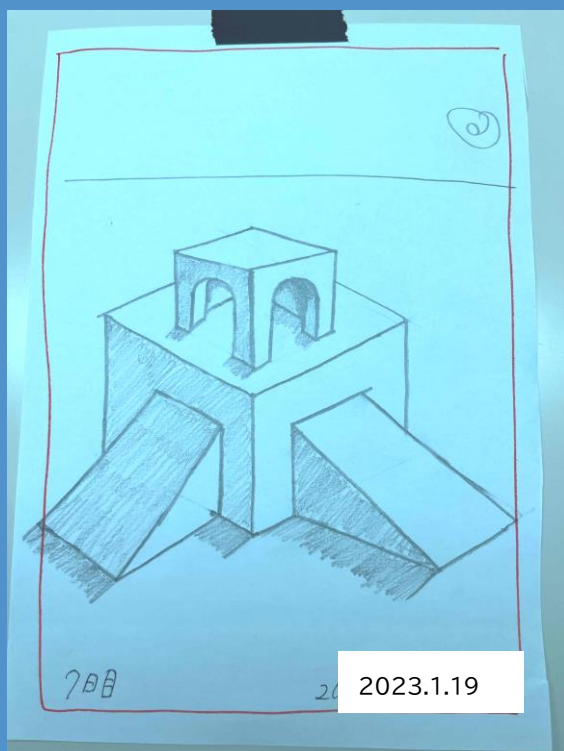
これが書けたら、スクリューのネジもかけそうじゃない？
朝ドラの影響か!?



気のせい気のせい。大丈夫。大丈夫。

レッスン 7: 立方体・上級編

立方体の上級とは…??もはやこれは建造物では?



マークの言う通りに描いたのになんか変。



なんか凄~い。
こんな絵を描く機会
は人生でほぼなかつ
たな。影がコナレて
きてる気がするよ。



ちゃんと消しゴム
かけてますね。
光源!!

レッスン 8: コアラ

いきなりの動物。ふわふわした動物ならではの毛並みの質感が重要だが、具体的な教示はなかった。



「ふわふわした感じを出しましょう」と言われても。そこをもっと詳しくお願いしますよ。



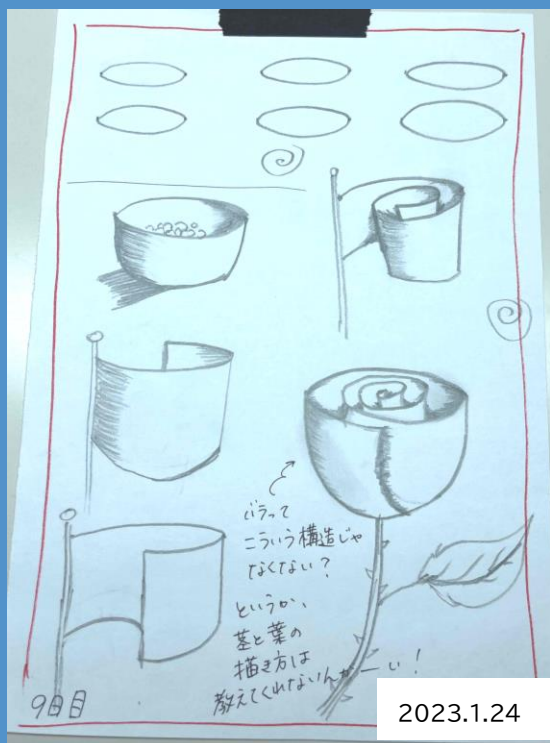
可愛い！
上のウニみたいなのも可愛い。
コアラは鼻に特徴があるのね。



これは可愛い！
顔の長さと言鼻の配置が絶妙☆彡

レッスン 9: バラ

花の部分は教えてくれたが、茎と葉は教えてもらえず。



工程が多かったレッスン。これをバラだとは認められないなあ。コアラの時も思ったけど、この画風でこんなに深い影つけるのおかしくない？



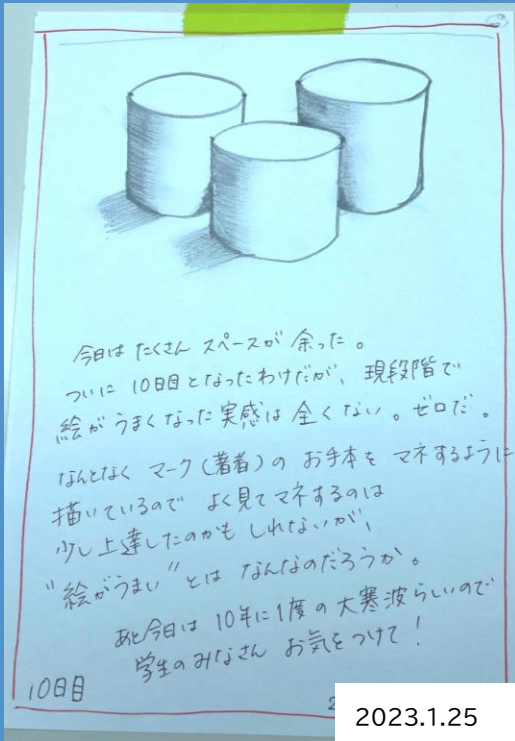
バラ？バラか？バラだよな？
たなびく旗を応用すれば、バラになるってこと？



練習もしっかり描いて、きちんとマークに向き合っているとしました。

レッスン 10: 円柱

動物と花のレッスンの後に、また図形のレッスン。



レッスンも3分の1
が終了。絵が上達
した気が全くしな
い。驚くほど実感
なし。結構マジメ
に向き合っている
のになぜだろう
か。マークを信じ
る心が足りないの
だろうか。



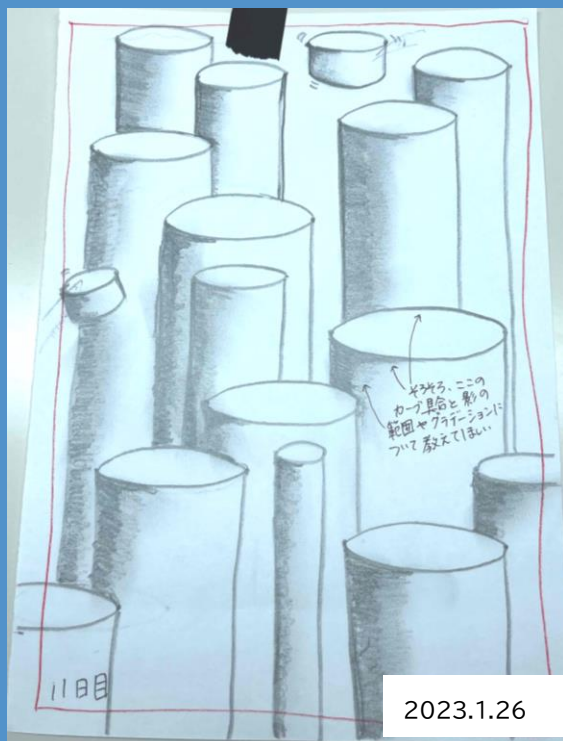
文章が多いぞ。
絵が上手くなった実
感がないようだけ
ど、なかなかイケて
ると思いますよ！



とうとう信心の話が
できましたね！
ワクワク！

レッスン 11: 円柱・上級編

これは・・・なんだ？



2023.1.26



昨日とは打って変わって紙面いっぱいに描かせるレッスン。時間がかって大変だった。このレッスンは何に活かせばいいのだろうか。マークを信じる心が揺らぐ。



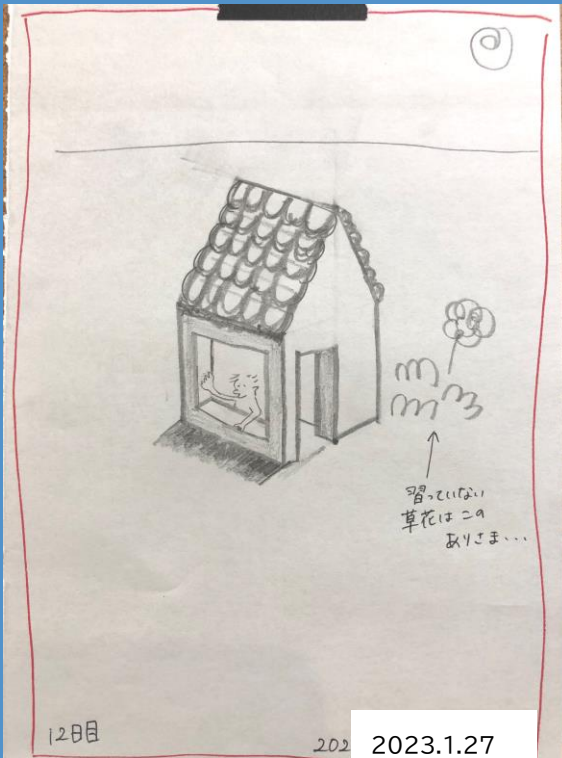
これもちょっと怖い。迷い込んだら出られなそうな世界感よね。ニヨロニヨロにも見えるな。



コイケさんは円柱が上手だと思っていました。

レッスン 12: 家

絵に描いたような家。最後に急に窓に人物が描かれていて受講者を戸惑わせてきた。



最初に描いた家よりはいい気がするが、少し縦長に描きすぎたようだ。予習しないで描くようにしていたので、最後に人が現れた時の驚きといったらもう。消しゴム必須。



草花がフリースタイル(笑)
家上手！
手を振る人物、まだ人習ってないよね？



そうですね！いきなり人を描かせるとは何事でしょう。

レッスン 13: 家・上級編

こっちの家を見ると昨日の家は小屋みたいだ。あと
やはり草や木の教えはなし。



格段に家っぽい。
郵便受けがうまく
描けた。木は片足
ダチョウのエルフ
をイメージして描
きました。マークの
指定する光源の位
置のせいで全部夕
方に見えて寂し
げ。



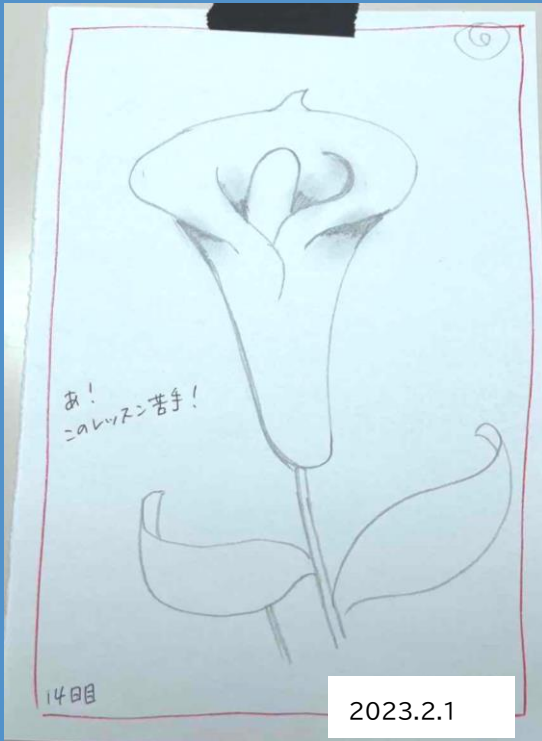
家が進化したぞ！
屋根がお菓子の家
みたいで美味しそ
う。
ポストもいいね♡



中で温かいクリーム
シチューとアップル
パイが用意されて
いそうな家です。

レッスン 14: カラー

曲線のレッスンだった。カラーに馴染みがなさすぎた。



全然ダメだった日。ダメすぎてこれ描いた時の記憶が曖昧。



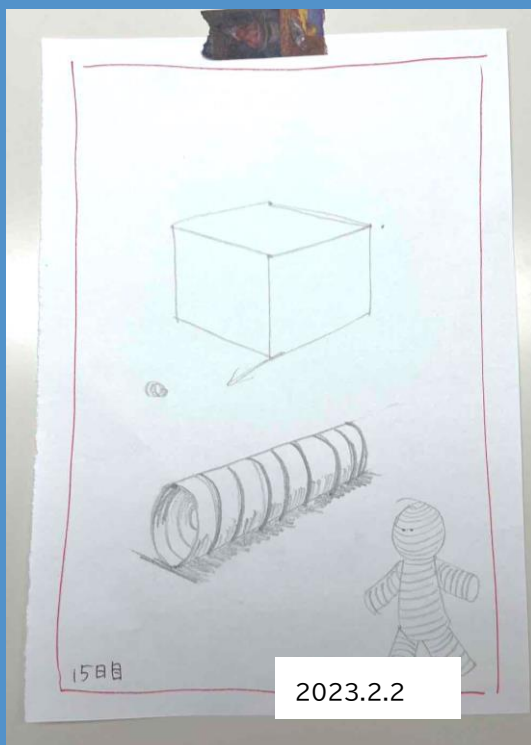
14 日目のコメントは、「マークのごほうび？」ということ？書いた本人も覚えてないっす。



←多分、昨日に比べて難易度が下がった感じがしたからではないでしょうか。

レッスン 15: 平行曲線のある円柱

“立方体コンパス”という概念が新たに出てきた。
レッスンも折り返し地点。これで大丈夫か！？



箱をコンパスにするという発想が斬新すぎて理解できず。このやり方は美術業界では定番なのではないでしょうか。レッスンも半分を終えて、これでいいのでしょうか。



右下の某タイヤメーカーのキャラに似てるよね？円柱もお菓子みたいで美味しそう



これはイタリアのお菓子「カンノーロ」でしょう！

レッスン 16: 波

昨日のレッスンの応用。波の構造ってこうだったけ？



描き進めるほどに
「なんか違うな
い？」と疑念がす
ごい。サーファー
でも描けばもっと
波っぽくなったか
もしれない。



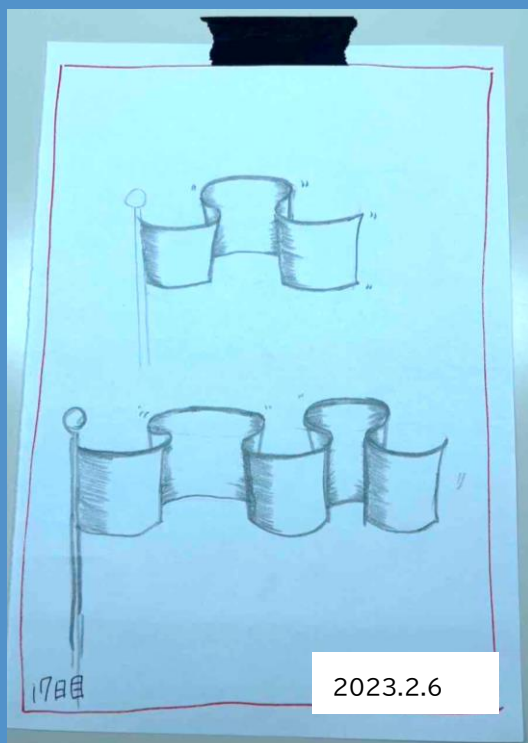
ダイナミックな波で
すね。波の巻とし
びの描き方が反対
方向に作用してる
のね。



サーファーww
私は波っぽいと思
いましたよ！

レッスン17: 旗

風になびいている様子なのだが、こうなるか？



風が吹いている向きがわからない。風に吹かれる躍動感がゼロなのはどうか。もう毎回「これでいいの？」という気持ちになる。



確かに風の方
向は？ですね。
でも、ウネウネ感、し
っかり出てますよ。
素敵！



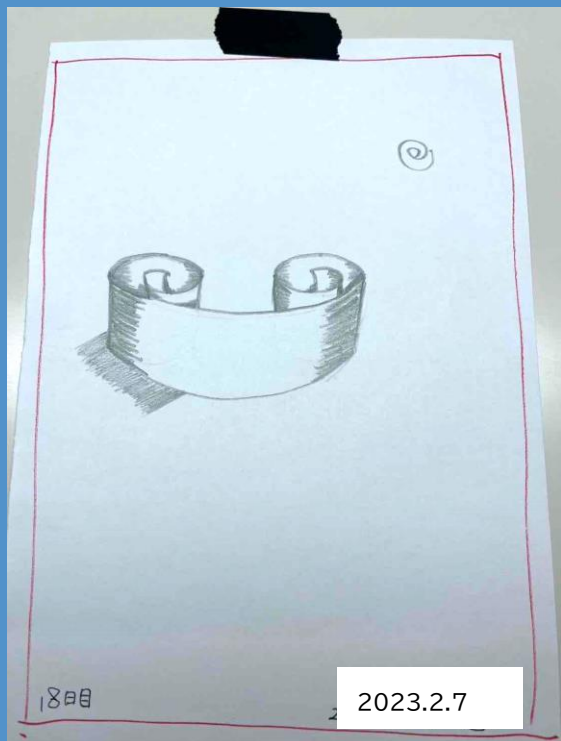
確かにうねりがポイ
ントですね。体操で
使うリボンってこう
いう動きしません？

レッスン 18: 巻いた紙

巻いている描写の解説が詳しかった。



巻いた紙を手描きすることあるかなと思いつつ。久しぶりの光源グルグルも全然上達しない。金ちゃんみたいな光源グルグルを描きたい。



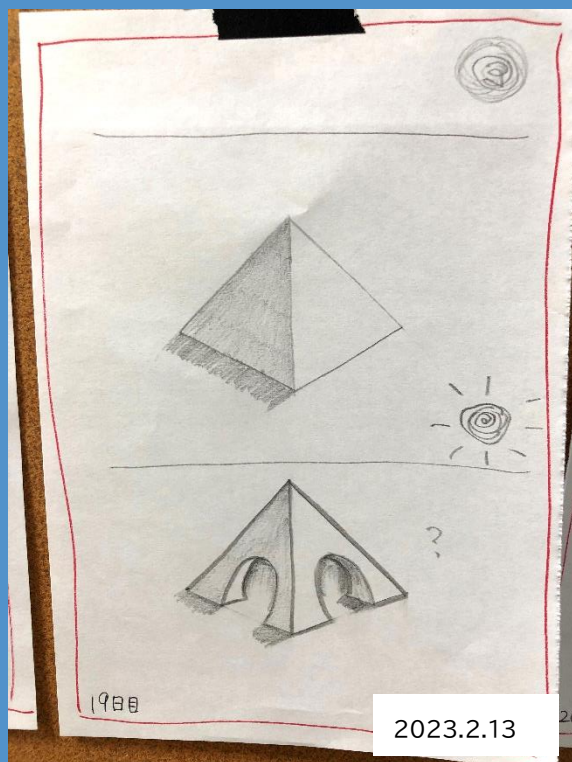
てっきりパッチンバンドかと思った。手首に巻いたらおしゃれ度アップ間違いなし！



そこはかとなく寂しさを感じますね。「ぼつん・・・」みたいな。

レッスン 19: ピラミッド

三角錐。いきなり重ねるように描く。我々はもうそこまで到達しているということか？



応用レッスンが多くて、テントっぽい
のだけ描いた。「こ
れでいいのか？」
という気持ちがつ
いに？マークとし
て出てきた日。



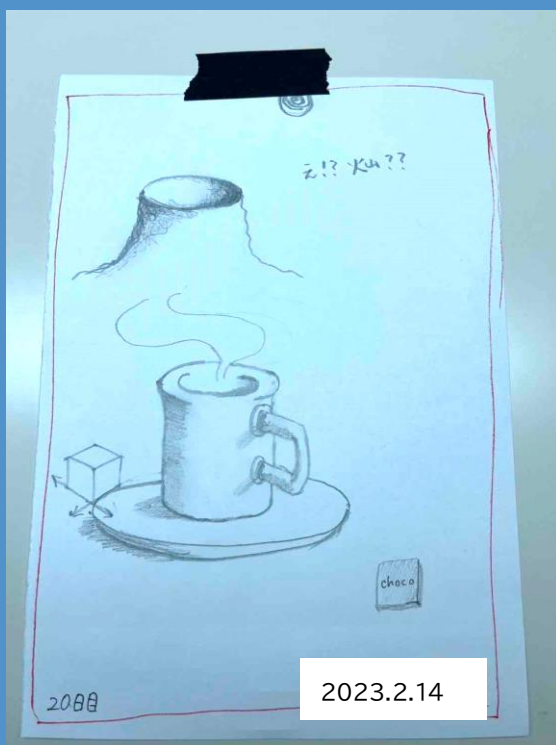
ピラミッドだあ～。
光源も太陽に見えま
すね。カラカラに乾
燥した砂漠感も出て
ますよ。



「ピラミッド」と「？」
の組み合わせは、ミ
ステリー好きにとっ
て最高です。

レッスン 20: 火山、クレーター、マグカップ

くぼんでいる感じのレッスン。バレンタインデーだったので自主的にチョコを描いた。あと 10 日！



金ちゃんがチョコを描いているのを見て自分もと描いた。もはやなにもわからない。あと 10 日。自分の中には「？」しかない。絵がうまいってなんだ？



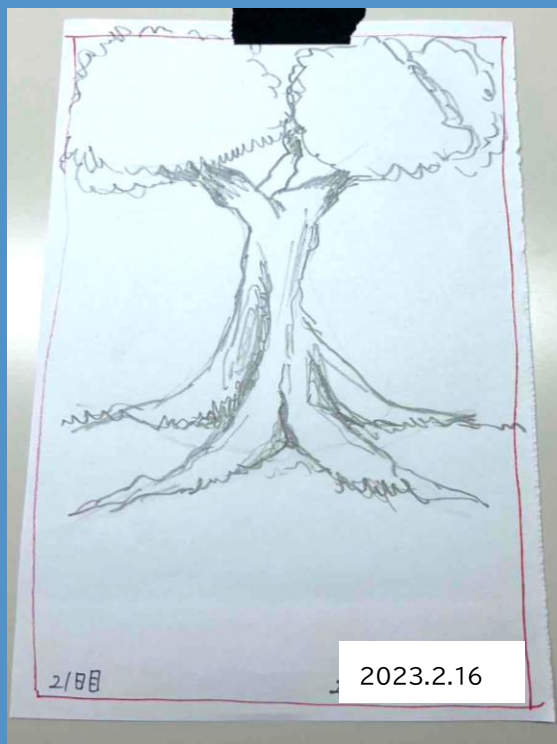
こっちにもチョコレート♡だって今日はバレンタインデーですから。
マークのいいなり。



誰しも一度は通る道なんでしょう。「絵がうまいって何なのか」

レッスン 21: 木

Xで木の根を表現するという初めて見る手法。葉と幹の質感についてはノーレッスン。



もう少し下の方から描き始めればよかった。描き始めの位置を指定してほしい。×から木の根を描くというテクニックしかわからず。



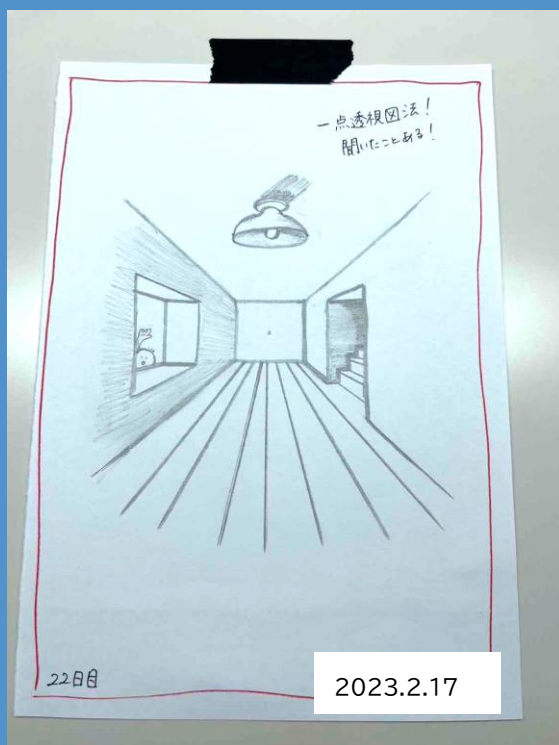
今にも動き出しそうな木ですね。
もう少し下にも書いたら、葉っぱもダイナミックになったかな



宮崎駿作品を思い出しました。
上空に昇っていています。

レッスン 22: 部屋

一点透視図法という聞いたことがうっすらある技術のレッスン。



マークの言う通りに描いたけど、なんか違和感があるのは私がヘタだからでしょうか。最後にまた人が描かれていた。誰だ。



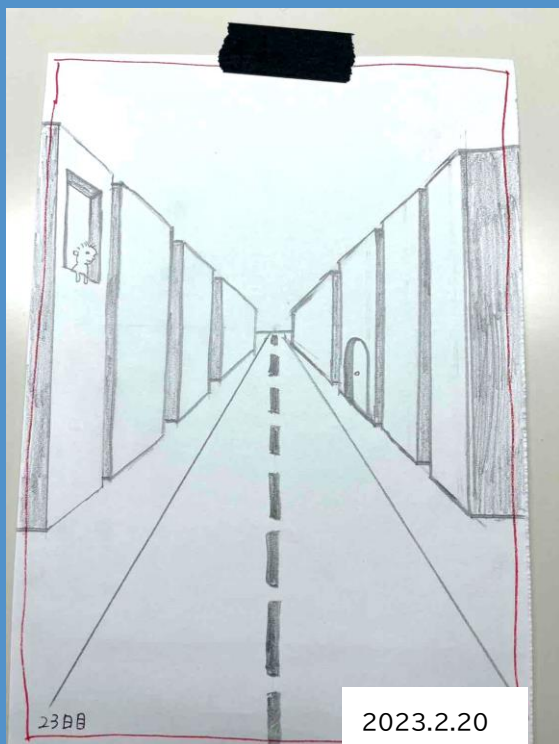
おお、いいですね。
中央に吸い込まれ
そう。階段も上手。
いた！窓から人！
可愛い♡



階段や廊下もちゃんと描きこんであってうらやましい限りです。

レッスン 23: 街並み

引き続き一点透視図法のレッスン。



私も悪夢の町みた
くなってしまった。
これでいいのだろ
うか。



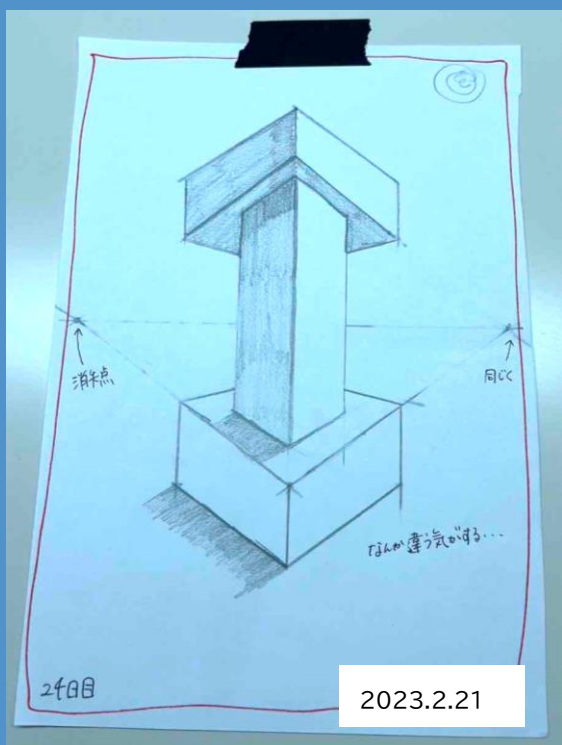
確かに人も住まな
くなったかつての町
って感じかも。
それを寂しそうに見
ている小さい子。



ゴーストタウン感が
否めません。ちいさ
い子の手が特に可
愛らしい。

レッスン 24: タワー

二点透視図法のレッスン。レッスン 6 とどう使い分けたらいいのだろうか。



ああ、全然ダメ。こういうアングルなのかがわからない。なんか歪んで見える。もう少し小さく描けばよかった。



下側からのアングルになりますよね？
教えを請わなければ
絶対に書けない絵
です。特に私は。



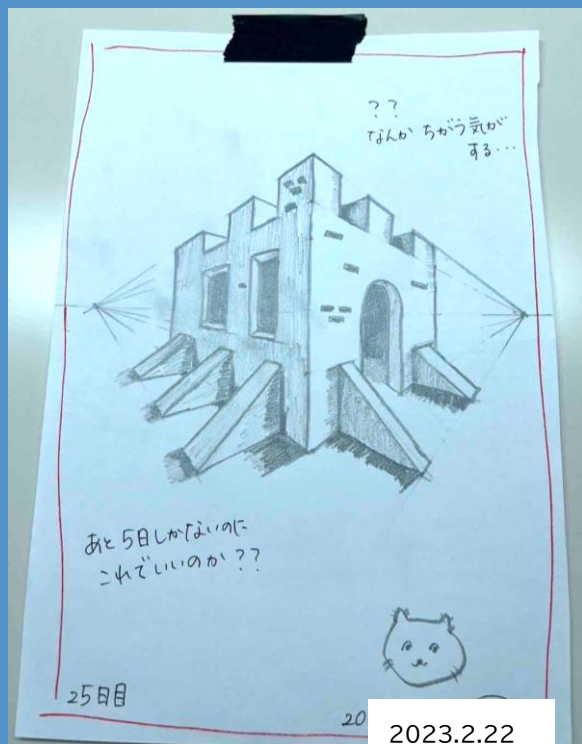
ここにもモノリスが登場しましたね。

レッスン 25: 城

二点透視図法。消しゴム使いまくり。



なぜか縦長になってしまう。縦線と横線の比率から教えてほしい。あと猫の日だったので猫を描きました。私がこれまで描いた猫と全く違う。自分の画風を見失ったようです。



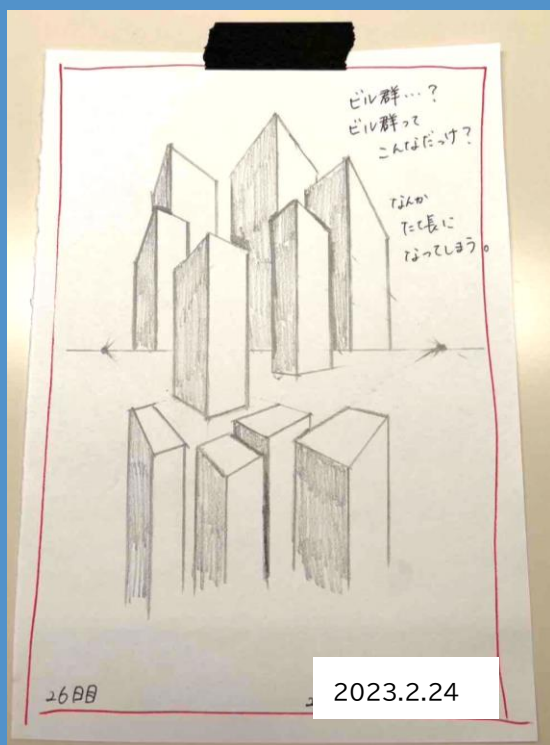
いい！影が立体感を出しているね。猫の日で、猫か。上と違って平面的だけどね。これも味。



得るものがあれば失うものもあるのでしょうか...

レッスン 26: ビル群

二点透視図法。こんなにビルを乱立していいのだろうか。街づくり計画も教えてほしい。



ああ、縦長になってしまう。これ、道路どうなっているの？個々のビルも歪んでいる。マークの言う通りにしたのに。



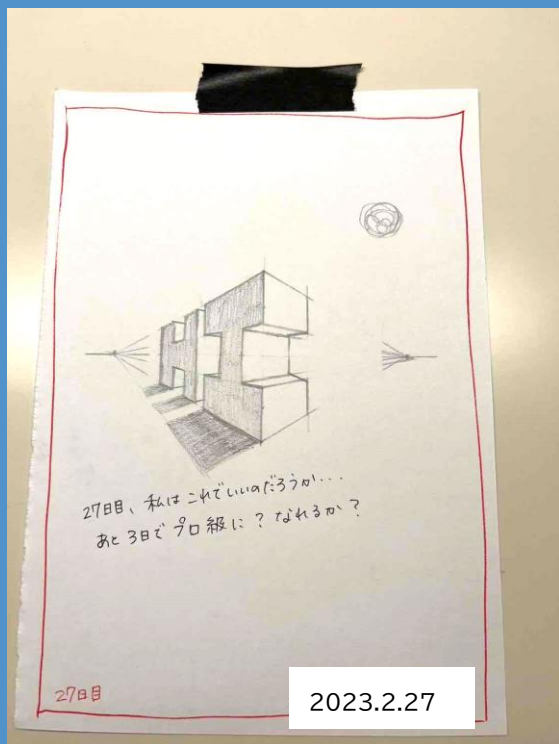
ジグソーパズルにもよく使われるビル群。
コイケが「心が折れる」って言ってます。



この絵、大変でしたよね。どういう状態になっているのか分からないんです。

レッスン 27: レタリング

字！？ 27日目で字！？



縦長に描かないように意識した。ここで初めて地面にうつる影の長さを消失点からの線で決めるということが発覚。絵がプロ級にうまい人はレタリングもこうやって描くの？



なぜに HI？
曲線のレタリングも
見たかった。
C とか R とか。



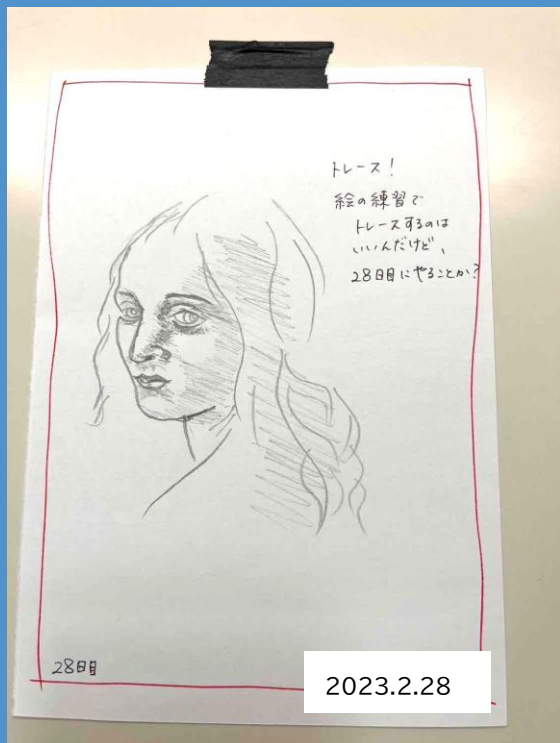
確かに影が自然です
ね！
重厚感があります。

レッスン 28: 人の顔

レオナルド・ダ・ヴィンチの「岩窟の聖母」を模写する
というレッスン。あと 2 日！



模写！？今、模写
してて大丈夫？マ
ークの言う通り、
本に紙を重ねてト
レースしました。た
ぶんだけど何も身
についていない。
何回もやればいい
んだろうけど、そ
こまで時間とれな
い。



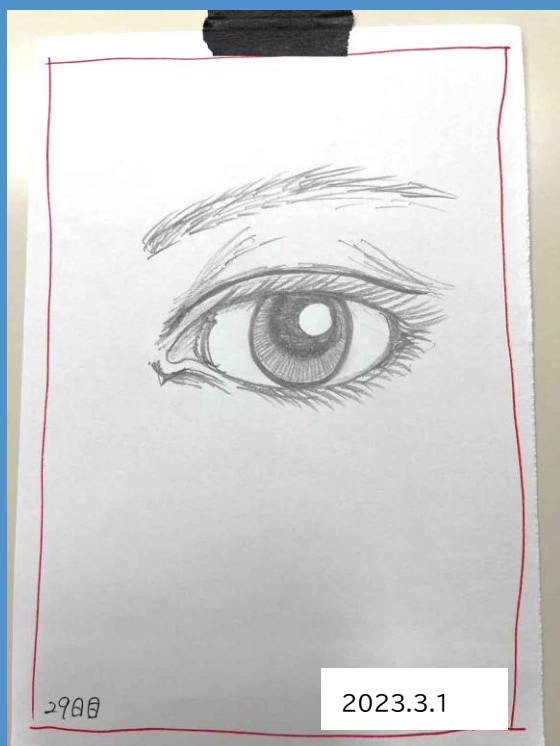
「岩窟の聖母」に見
えます。
表情が暗く見えるの
は、影のせい？



あのダ・ヴィンチを
模写。
トレースといえども
表情が難しい。

レッスン 29: 目

まさかの目単体。影の描き方がかなり綿密なものだった。明日がラスト！



私、一重なので二重の構造がわからないんですよ。こんな感じ？お手本を再現しているだけなので、左目も鼻も口も描けない。



この目力！
なんでも見透かされ
そうな気がする。
もの凄い存在感で
す！



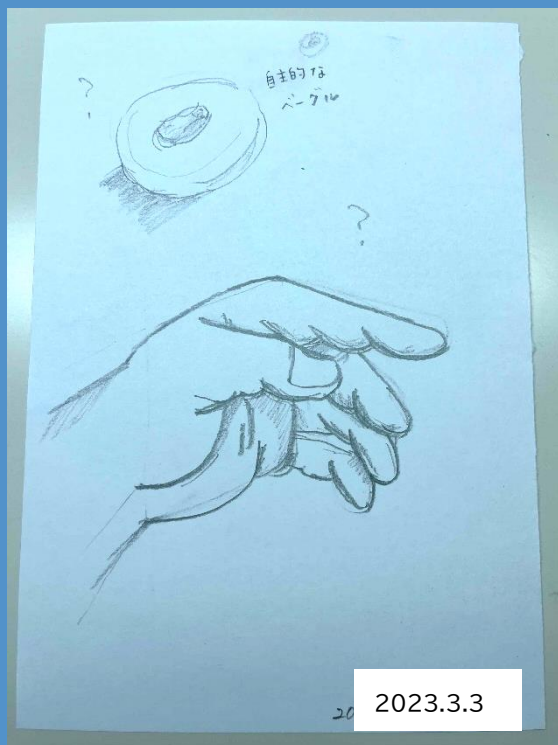
とてもきれい！
欧米人っぽい目で
すね！

レッスン 30: 手

最後が手！？自分の左手を見ながら描くというレッスン。上達具合がわからないので自主的にベーグルを描く



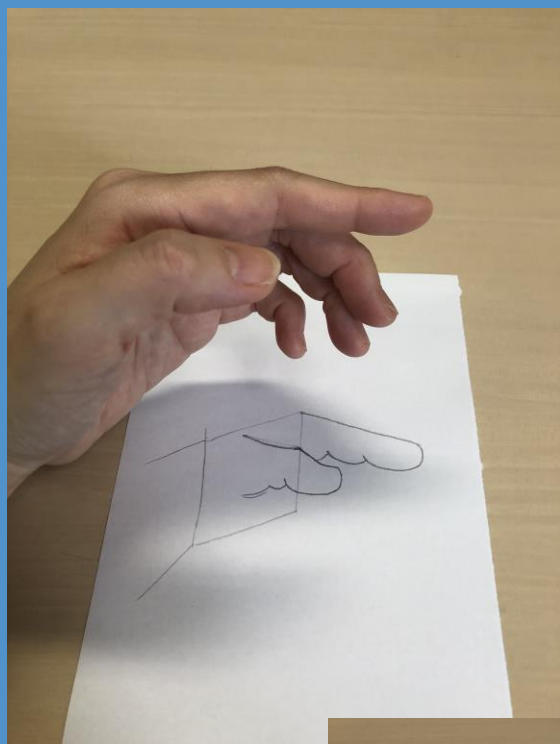
そもそも手の構造を理解していないので、関節が変。これまで習った技法を使っていないので、充足感もない。



祝 30 日！
お疲れ様でした！
初心に帰ってベーグルね。でもねドーナツに見えるわ。



最終回は、ベーグルと飛行機を描きたかったですよね。



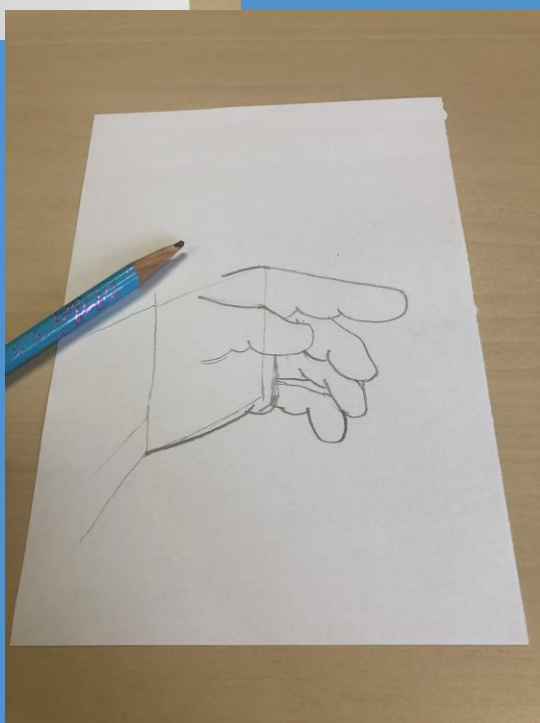
最後のレッスンの様子。

マークの見本と自分の手を見比べて描く。

左利きのコイケ、大ピンチ！



まず、マークの見本の通りに左手をポーズするのがしんどかったです。どうしても途中から、妥協して描いてしまって、よくないなと思いつつ、「マーク、もう少しわかりやすく頼むよ！」という気持ちも。



総括



“絵がうまい”というのはどういうことなのだろうか。それを考えさせられた 30 日間だった。構図や影を写実的に描くのには全体の雰囲気がイラストチックなマークの画風が自分には合わず苦戦した。汎用性のあるテクニックの紹介ではなく、マークと一緒に描いてみましょうという内容なので、個人的には絵がうまくなった実感はなし。ただ、金ちゃんと毎日同じものを描くというのはとても楽しかったので、マークのプロフィールから考えるとそういう“楽しさ”がこの本のメインなのではないかと。一人だったら3日目にやめていました。

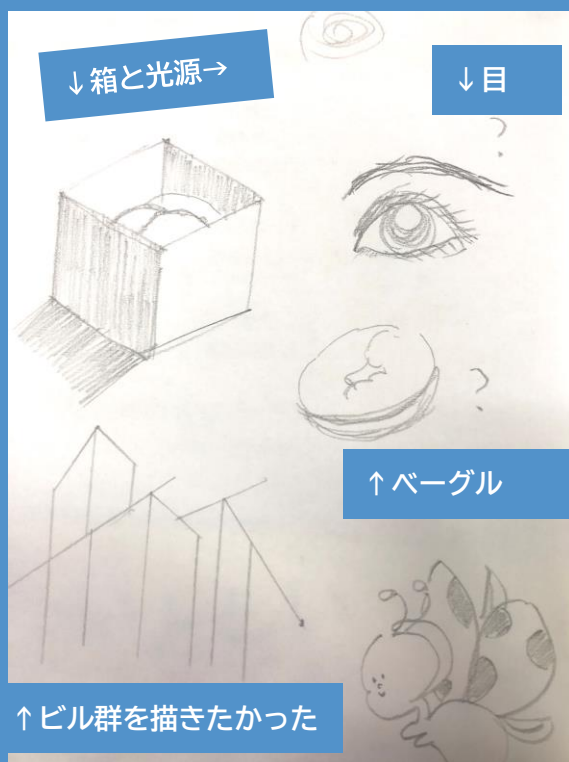
『たった 30 日で「プロ級の絵」が楽しみながら描けるようになる本』

マーク・キスラー 著 東洋経済新聞社 2022.12

こちらの本はベストセラーコーナーにあります。最後のページにマークの連絡先がありますので、描いた絵を送ってみるのもいいですね。私たちがみたい、誰かと一緒にやるのがおすすめです。



内緒のオマケ



最後のレッスンから
17 日が経過しまし
た。マークの教えが
身についているの
か、再度描いてみよ
うと思います。ちな
みに本は今手もとに
ありませんので、参
照できない状況で
す。



ふと思いついた物を描きました。マークの教え…身
についていないですね。箱はギリいいですかね。ただ
影の角度がちゃんと見ると間違っていますね。あんな
にマークに影の方向を注意されていたのと思うと不甲斐ないで
す。二点透視図法は完全に忘れています。もうビル群は描けませ
ん。目はなんか、私こんな目を描くタイプではなかったんですが、
かといってマークの教えとも違うような…これなに？

あと右下のは当館のマスコットキャラのぷくてんです。